

～ 目 次 ～

序 章. 調査の背景と目的	1
第 I 章. 伊勢湾の特質と再生の意義	7
1. 伊勢湾の過去・現在	8
1-1. 環境財として (ひ弱な伊勢湾) (豊饒の伊勢湾) (脅威の伊勢湾)	8
1-2. 社会財として (癒しの伊勢湾) (畏敬の伊勢湾)	17
1-3. 生産財として (漁りの伊勢湾) (交易の伊勢湾) (埋立の伊勢湾)	23
2. 伊勢湾再生の意義	31
2-1. いま、なぜ伊勢湾なのか (終着駅「伊勢湾」) (瀕死の伊勢湾) (断絶の伊勢湾) (錯綜の伊勢湾) (未知の伊勢湾)	31
2-2. これからの伊勢湾 (伊勢湾は誰のものか) (伊勢湾とともに科学する) (伊勢湾とともに哲学する) (日本再生のモデル「伊勢湾」)	45
第 II 章. 伊勢湾再生の基本理念とあるべき姿	53
1. 伊勢湾に対する基本的な認識	55
2. 伊勢湾再生の基本理念とあるべき姿	56
3. 伊勢湾再生に向けた 5 つの取組みの基本方向	58
4. 伊勢湾再生に向けた段階的な展開 (時間軸)	59
5. 伊勢湾再生に向けた多段的な展開 (空間軸)	61
6. 伊勢湾再生に向けたさまざまな視点	63

第Ⅲ章. 伊勢湾再生に向けた基本的な取組み	65
1. 環境への負荷が少ない循環を基調とした「良好な水質・底質の保全」	67
2. 自然と人間が共生する「多様な自然環境の保全と生物多様性の確保」	74
3. 循環と共生に育まれ、実感できる「伊勢湾文化の保全・継承・創造」	78
4. 伊勢湾の環境の保全・創造を基調とした「持続的な利用と安全の確保」	82
5. 伊勢湾再生に向けた共通基盤 (調査・研究) (参加・実践) (情報・交流)	89
第Ⅳ章. 戦略プログラム	95
1. 戦略プログラムの提案	96
2. 水質改善プログラム	97
3. 沿岸整備改善プログラム	106
4. ベイ・アクセシビリティ・プログラム	114
第Ⅴ章. 伊勢湾再生の具体化に向けて	119
1. 今後の課題	120
2. アクションプログラムの策定	121
3. 伊勢湾再生の具体化のための推進体制	121
資料. 伊勢湾再生ビジョン策定委員会	123
1. 伊勢湾再生ビジョン策定委員会委員	124
2. 伊勢湾再生ビジョン策定委員会の開催状況	124
3. 各委員のコメント	126